

**製品名: ZP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab20306**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ZP1
別名	ZP1; Zona pellucida sperm-binding protein 1; Zona pellucida glycoprotein 1; Zp-1
遺伝子 ID	22917.0
SwissProt ID	P60852
免疫原	抗血清はヒト ZP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

**背景**

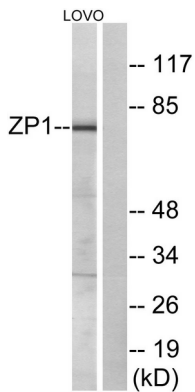
透明帯は、卵母細胞と初期胚を取り囲む細胞外マトリックスです。主に 3~4 種類の糖タンパク質から構成され、受精から着床前発達まで様々な機能を有します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、透明帯の構造的完全性を確保します。この遺伝子の変

異は、卵母細胞成熟障害や不妊症の原因となります。[RefSeq 提供、2014年5月],ドメイン: ZP ドメインは、ZP タンパク質の重合に関与し、透明帯を形成します。機能: 哺乳類の透明帯は、種特異的な精子結合、先体反応の誘導、受精後の多精子受精の防止に関与しており、ZP1、ZP2、ZP3、ZP4 という 3~4 種類の糖タンパク質から構成されています。ZP1 は透明帯の構造的完全性を確保する。PTM:O-グリコシル化されている。PTM:膜貫通セグメントの前でタンパク質分解的に切断され、透明帯に組み込まれた分泌型の細胞外ドメインを生成する。類似性:ZP ドメインファミリーに属します。ZPB サブファミリーに属します。類似性:1つのP型(三葉型)ドメインを含みます。類似性:1つのZPドメインを含みます。サブユニット:ZP2とZP3のポリマーが長いフィラメントを形成し、ZP1ホモ二量体によって架橋されています。組織特異性:卵母細胞。

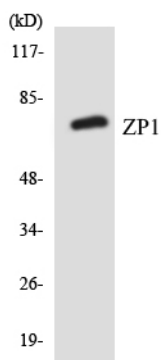
## 研究分野

発生生物学; 生殖; 受精; 生殖細胞マーカー

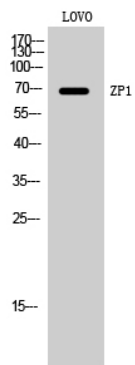
## 画像データ



ZP1抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ZP1抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ZP1 ポリクローナル抗体を用いた LOVO 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。